

授業科目	運動学各論				
担当者	境 隆弘 (実務経験者)				
実務経験者の概要	理学療法士としての臨床経験があり、現在もスポーツ整形分野の病院に携わっている				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	2単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

理学療法にとっての運動学 (Kinesiology) は、「人間の運動の科学」であり、理学療法士として実務をするために必須の学問である。

下肢、体幹・頭頸部の機能解剖に立脚した運動の分析を関節運動学と運動力学の視点から部位別に学ぶ。姿勢や歩行に関する運動学的、運動力学的分析と筋出力、運動学習について学ぶ。

境 隆弘 (実務経験者)

■ 到達目標

下肢、体幹・頭頸部の関節運動学を理解し、触診やデモンストレーションが出来るようになる。
姿勢や歩行に関する運動学的、運動力学を理解し、観察や分析が出来るようになる。

■ 授業計画

- 第1回 コース・ガイダンス
講義の進め方、評定の他、前期に学んだ運動学総論、後期に学ぶ運動学実習との関連性を学ぶ
- 第2回 下肢の関節運動学①
股関節に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第3回 下肢の関節運動学演習①
股関節の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第4回 下肢の関節運動学②
膝関節に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第5回 下肢の関節運動学演習②
膝関節の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第6回 下肢の関節運動学③
足関節に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第7回 下肢の関節運動学演習③
足関節の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第8回 体幹の関節運動学
体幹に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第9回 体幹の関節運動学演習
体幹の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第10回 頭頸部・顔面の関節運動学
頭頸部・顔面に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第11回 頭頸部・顔面の関節運動学演習
頭頸部・顔面の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第12回 四肢と脊柱の運動連鎖
開放性運動連鎖 (OKC) と閉鎖性運動連鎖 (CKC) について学ぶ
- 第13回 四肢と脊柱の運動連鎖演習
OKC と CKC に関する演習を行い、理解を深める
- 第14回 筋トルク
様々な収縮形態により発揮される筋トルクについて学ぶ

- 第15回 筋トルク演習
実際に筋トルクを計測し、理解を深める
- 第16回 姿勢制御の神経機構
ヒトの姿勢反応について学ぶ
- 第17回 姿勢制御の神経機構演習
ヒトの姿勢反応について、演習を行い理解を深める
- 第18回 運動戦略
ヒトの運動戦略(ストラテジー)について学ぶ
- 第19回 運動戦略演習
ヒトの運動戦略(ストラテジー)について、演習を行い理解を深める
- 第20回 歩行の運動学①
歩行の運動学について、概論を学ぶ
- 第21回 歩行の運動学②
歩行の運動学的分析について学ぶ
- 第22回 歩行の運動学③
歩行の運動力学的分析について学ぶ
- 第23回 運動学習
ヒトの運動学習機能について学ぶ
- 第24回 運動学習演習
ヒトの運動学習について、演習を行い理解を深める
- 第25回 実技試験(口頭試験含む)①
学んだ関節運動学、動作について実技試験を実施する
- 第26回 実技試験(口頭試験含む)②
学んだ関節運動学、動作について実技試験を実施する
- 第27回 実技試験(口頭試験含む)のフィードバック①
実技試験の解説、講評を行う
- 第28回 実技試験(口頭試験含む)のフィードバック②
実技試験の解説、講評を行う
- 第29回 総括① 本講義で学んだ事について、復習、再確認を行う
- 第30回 総括② 本講義で学んだ事について、復習、再確認を行う

■ 評価方法

【科目試験(筆記試験)80%】

小テスト・実技テスト20%(学則で認められない理由での遅刻・欠席は減点)

講義内テストを含む全ての試験の際に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格(留年)とする。

■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

(予習)

運動学は、解剖学、生理学、物理学(力学)の知識が無ければ、理解が進まない。

毎回、授業内容に応じた解剖学、生理学、物理学(力学)の復習をしてもらうこと。

例:股関節の授業の前は、股関節の解剖の復習をしてもらう。

(復習)

授業の翌週に必ず小テストを行うので、授業での学習内容が身に付くよう復習すること。

■ 教科書

書名：基礎運動学

著者名：中村隆一、斎藤宏

出版社：医歯薬出版

書名：PT・OTのための運動学テキスト

著者名：小柳磨毅 他編

出版社：金原出版

■ 参考図書

書名：身体運動学 関節の制御と筋機能

著者名：市橋則明

出版社：メジカルビュー

■ 留意事項

初講時に説明する、受講時の服装や必要品を忘れないようにすること

■ 講義受講にあたって

理学療法の基礎学問として運動学総論から続く重要な科目であり、更に運動学実習、臨床運動学と引き続き勉強なのでしっかり学んでほしい。